



みゆーずのあるシード館前からは淀川や対岸の枚方市方面が一望できます

感謝

水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
 〒618-0001
 大阪府三島郡島本町
 山崎5丁目3-18
 発行人 黒川 芳 朝
 編集 広報委員会
 法人事務局 075-961-0711
 F A X 075-961-1144
<http://www.osakasuijyorinpokan.com/>
 印刷所 (有)木村桂文社

山の上から眺めた景色

井筒 隆祐

僕がひびぎに最初に来たときから三年が経とうとしています。二十五歳になり、情報処理の会社に勤めて四年目になります。基本はパソコンの入力をしていますが、接客や荷物を運んだり整理をする仕事もしています。

高校卒業後、ひびぎから自宅に帰ります。就労移行支援センターに通いました。そのときは使えるお金が一日千円で、好きなゲームソフトは食費を削って買ったりしていました。でも今は給料を買ったようになります。社会人なので家に六万円入れ、食費も基本的に自分で賄っていますので余裕はありませんが、休日は自転車の遠乗りをしたりライメンの食べ歩きをしたりして楽しんでます。

今の会社に来て病欠、遅刻はありません。会社の仕事の一環で、大正川の清掃をするなどしています。外で力仕事をするのが好きです。この前トラックの助手になり和歌山まで行き、重い荷物の運搬をしましたが、そのときはものすごい汗が出ますが、すごい幸せな感じになれるのです。これからもこんな仕事を増やしていきたい、頑張ります。

二〇一九年標語
**わたし(神)の目には
 あなたは高価で貴い**
 一 旧約聖書・イザヤ書 四番四節

ていきたいです。ひびぎでの生活で印象に残っていることは山の上から眺める自然豊かな景色です。みゆーず(水上隣保館の敷地)で一番上にある二小・二中の分教室から下を眺めると遙やひびぎが、更に向こうに枚方が見えました。それまで、都会で生活していて、自分がいかに狭いところで生きていたかわかりました。

小四の頃、家に同居した男性が厳しい無茶なルールを課してきて、暴力を振るいました。眉をびくっと動かしただけでマナー違反と責められ、「窓から飛び降りろ」と言われたり、刃物を突き付けられたり、ねずみ火花を投げつけられたりしました。その後、耐えられなくて家を出して、ひびぎに来ることになったのですが、職員さんにやさしく接してもらい、「ああ助けてくれる人もいるんだ」と思いました。山の上からの景色を見ると「生きた心地」がしてきて、「こっちが現実と違っていいんだな」と考えるようになりました。

ひびぎでの生活は、それまでの家で生活になかった色んなことがありました。「墓前礼拝やクリスマス祝会ではこんなこともするんだ、外国みたいだな」と思ったり、施設の運動会ではマラソンが中学生の時よりも長く感じていたのに、退所する前はトップテンに入り自信になりました。職員の人とはマンツーマンで作

業などをする中で、常識やマナーも教えてもらいました。セラピストの人とは自分の障碍からくる特徴(人とのコミュニケーション)が苦手、複雑な作業が不得手など)と一緒に勉強しました。いいことばかりでなく、周りの子にちよっかいをかけられてパニックになったこともありましたが、高二で本体施設を離れて小規模ホームで趣味の合うみんなと一緒に生活するようになり、「感情が抑えられなくなるのは、自分の感じ過ぎ、考え過ぎも原因ではないか」と思うようになり、物事を俯瞰的に見る事ができるようになりました。

(ひびぎ二〇一二年度卒園生)

クリスマス おめでとうございます

狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。

一 マタイによる福音書 七章二三節

本年十月、遙学園の職員が、青年海外協力隊員としてモザンビーク(アフリカ)に赴任しました。言葉や環境・文化の異なる国で、児童養護施設の立ち上げに自らの経験を活かしたいと応募したそうです。二年間の任務を終えて遙に戻ったとき、大きく成長した彼女の姿を見ることが楽しみです。

社会福祉法人 大阪水上隣保館

災害ボランティアに参加

七月の西日本豪雨で被災した方がたくさんおられる現状をニュースなどで見知った子どもたちと話をする中で、「自分たちにも何かできることがあるのではないか」という声が上がリ、自主的にボランティア活動に参加しました。

事前の参加者募集の時から積極的に参加したい子が多く、前向きな気持ちで表明してくれていました。

まず七月十六日、高校生中心の男子四名・女子二名と職員二名が由良川の支流が氾濫し山の土砂が流れ込んだ京都府綾部市へ行き、他のボランティアの方々と一緒に床下の土砂をかき集めたり廃材や家具を運んだりしました。

八月七日には特に被害の大きかった岡山市東区に行くことになり、中高生六名の女子と職員二名で早朝に出発し現地に九時入りしました。川の氾濫で床上一層五十センチまで浸水したため、水に浸かった家具や廃棄物を公園に集めたことでガラス等の危険物が散乱し、安全に使用できる状態ではなくなっています。公園を綺麗にするため、様々なところから来ていたボランティアさんたちとチームを組み、五時間程砂を五センチほど剥いで土嚢に詰めて回収する作業をしました。

本日に暑い日で長時間の作業は危険なため二十分ずつの作業を何度も行い



(遙学園児童指導員 大野智耶)

ました。また、子どもたちの持ち前の明るさにぎやかさが、周りの暑さで疲れている大人たちを和ませている様子も見ることができました。土嚢は全部で軽トラック五杯分もの量になりました。

子どもたちが弱音を吐くことなく最後まで取り組む姿は園にいるときの様子とは別人のようでも頼もしく思えました。帰りの車内でも「またあったら行くよ」と、自発的な発言も聞かれ今回の活動を通じて今後の園での生活や自立に向けて良い経験になったのではないかと思います。

また、子どもたちがやりたいと思ったり考えて行動したとき、私たち職員が想像したもの以上の力強い歩みになるといふことを実感しました。

大阪水上隣保館の宝物

晴れ着で祝う成人式

希望する卒園生の女子に振袖を着せて記念写真を撮り始めたのが今から十八年前でした。当初は、私や他の職員が昔着た振袖が三枚しかありませんでしたが、寄贈頂いたりと少しずつ増えました。事前に自分の好みの着物を選べる様になり、仮の着付けや髪型の相談等をして楽しく準備を進めています。女の子を育てたことがない私は、自分の振袖を着てもらえたことや、してほしい髪型の切り抜きや画像に近い髪型になるように結び上げて喜んでもらえる、とても嬉しいです。

成人式当日は、早朝から隣保館でヘアセットと着付けをし、島本町成人式に参加。その後施設長はじめ担当をしていた職員が集い、大人への第一歩を園でお祝いします。一緒に育った仲間や職員からはなむけの言葉がこれからの人生の宝物になることを願っています。

(法人事務局 村上さやか)



社会福祉法人 大阪水上隣保館

理事長	元大阪府教育長 (学)山崎学園理事長	黒川 芳朝
常務理事	総合施設長	村井 修徹
理事	衣目公認会計士事務所所長 元島本町民生委員 児童委員協議会会長	妹尾 節三
同	代表取締役社長 株)エー・アール	早川 須賀子
同	元弥栄の郷施設長	延原 正海
同	元島本町民生部長	岩村 一教
監事	会(社)福大阪府社会福祉事業団 島本町主任児童委員	高木 哲夫
同	福祉哲学研究所所長	秋山 智久
同	日本基督教団牧師	落合 洋司
同	流通科学大学教授	軽 込 昇
同	株)花外楼 女将	加藤 曜子
同	サンドライブリッツ(株) 山崎蒸溜所工場長	藤井 敬久
同	名古屋キリスト教社会館 チャプレン	杉本 美由紀
同	同志社大学教授	山田 裕子
同	元島本町立第二小学校校長	大西 健治
同	大阪府母子寡婦 福祉連合会理事・相談役	石伏 宣夫
同	元山崎幼稚園長	伊延 なおみ

法人 施設 参 与	村井 徹愛
総合施設長	山崎 深
児童養護施設 遙学園長	竹崎 博幸
児童養護施設 翼施設長	高崎 嘉史
児童心理治療施設 ひびき施設長	丸谷 邦江
大阪水上隣保館 乳児院長	井上 幸久
特別養護老人ホーム 弥栄の郷施設長	辻 弘亨
山崎 保育園長	大島 千香子
認定こども園 藤の里保育園長	安原 千香子
大阪保育福祉専門学校長	飯田 享子
大阪水上隣保館 附属診療所長	野村 義照
ゆりの礼拝堂 名誉館長	
学校法人 山崎学園	吉田 美代子



カット絵・高一 れん

おわらい

小三 男子

ぼくはホームでおわらいをしました。まずでてくるときにもりあげます。とちゅうからみんなをわらわせるみたいにもりあげます。さいごのときにかんそうやしつもんをいいます。たのしかったです。

運動会

小三 男子

ぼくはうん動会の練習でつな引きと八〇mを走る練習とエイサーの踊る練習をしました。つな引きの練習で同点だったので次の本番で勝ちたいと思いました。八〇mで一位だったけどまたがんばりたいと思います。だんすのエイサーはタイコやばちをもてるのでうれしいです。うん動会ゆうしょうしたいと思えます。

遠足

小四 女子

五月十八日に大阪市りつ科学館に行きました。おべん当でおにぎりが四つ入ったので四つもおにぎりがいらませ

んでした。おやつもおいしかったです。島本駅についた所でもうつかれました。でん車の中もおしゃべりしてのりまけたのしかったです。さいごにはプラネタリウムも見ました。

いろいろな太陽の動きや月の動きなどわかりました。せいざやほしもプラネタリウムをみてわかりました。いろいろ科学のことがわかったので勉強になりましたのしかったです。ほんとうは秋に行く予定でしたが秋にはこうじをするってなつたから、秋にいくとまにあわないので春の遠足でいくことになった。まだ行きたいです。

初めての文化祭

中一 女子

中学生になって初めての文化祭がありました。「糸」と「小さな花の種」(手話)等四曲の歌の発表をしました。パートわけていた「糸」の歌が一番大変でした。アルトでしたがソプラノにつられずにうたえました。三年生の「美女と野獣」のミュージカルがすごかったです。歌と演技がうまかったです。

七ツの短冊より

うにとサザエとはまぐりとアワビが食べれますように。イセエビもたべたい。きょうだいせいいいんが元気でいますように。イノシシの赤ちゃんがなつきますように。(中一 男子)



一人一人大切に心をよせて育てられた先生方の姿をみてご自身も同じ仕事にあこがれそのお仕事を全うされたこと。すごいなあ、と感心しました！先生方の献身的なお働きに神様の祝福を祈ります。 大阪市 渡口差知子

隣保館がこの山崎にこられてからのおつき合いで、子どもさんを預かったこともありました。本館ができたとき高松宮がいらしたこともありました。この百年近い隣保館の歴史を横田さんの歴史と共に今思い出して胸が熱くなつてきます。 大山崎町 野村 春子

水上の友をいつも読ませて頂き、子どもさん方と職員の方、それぞれの思いが伝わってきて心温まります。この度の地震や大雨に続いての猛暑ですが水上隣保館でもきつと大変なお心遣いがあったことと思います。日々神様の御守りがありますよう、お祈りしています。 尼崎市 吉岡 純子

▼本当に今年の夏の暑さは尋常ではなく、どうぞみなさんご自愛ください。初孫が八月に一歳になります。赤ちゃの成長のエネルギーに励まされている。はあばは一年生です。 山口県 清水由佳利

見学訪問団体芳名

- ・(二〇一七年十一月～二〇一八年十月)
- ・大山崎町民生児童委員協議会
- ・ことも未来部会
- ・大田区民生児童委員協議会
- ・箕面区民生児童委員協議会
- ・島本町民生児童委員協議会
- ・同志社女子中学校・高等学校
- ・(収獲感謝祭)(花の日)
- ・大阪保育福祉専門学校保育科一年生
- ・貝塚市人権協会
- ・京都文教大学臨床心理学研究科
- ・寝屋川市明和校区福祉委員会
- ・滋賀大学教育学部
- ・島本町立第三小学校四年生
- ・島本町立第二小学校四年生
- ・神戸女学院中学校・高等学部
- ・川西市民生委員児童委員協議会連合会
- ・島本町立第一小学校四年生
- ・池坊短期大学幼児保育学科
- ・平安女学院大学短期大学部保育科一年生
- ・矯正研修所大阪支所
- ・池田市通級指導教室担当者
- ・島本町立第二幼稚園PTA
- ・島本町立小・中学校PTA
- ・山崎幼稚園母の会

訃報

- ・鹿谷猛夫さん(二〇一八年二月二十六日召天)
 - ・元社会福祉法人評議員 学校法人理事・評議員 谷口成之さん(二〇一八年六月十六日召天)
 - ・枚方・谷口医院院長・賛助者 大久保勲さん(二〇一八年八月七日召天)
 - ・遙学園卒園生 相川栄蔵さん(二〇一八年十月六日召天)
 - ・旧法人職員・賛助者
- 長年に亘る貴いお働きに心より感謝し、御霊の上に神様の祝福が豊かにありますようにお祈り致します。

児童養護施設

遙 学 園

夏野菜プロジェクトがスタート

私は、この春から遙学園の幼児から小学高学年がいるフロアで働いています。大学は、農学部でしたが学童クラブのアルバイトで子どもたちと関わる楽しさを知り、以前大阪水上隣保館で働いていた母から遙学園の話聞きました。施設について勉強をしていく内に子どもと関わる仕事をしたいという気持ちが強くなりました。

子どもたちの試し行為に振り回されたり、対応で迷うことも多く、日々の事務仕事にも追われている毎日です。その中でも「子どもたちと全力で向き合う姿勢でいたい」と思う中、先輩職員の後押しもあり、夏野菜プロジェクトを始めることができました。

初回は小さい限られたスペースでしたがホームのベランダで、トマト・ナス・オクラ・ピーマン・枝豆を栽培することにしました。スーパーでは見ることのない野菜の姿を見て「オクラってこんな葉っぱなんや」「ナスってトゲがあるんや」など、子どもたちも興味を持ってくれました。水やり当番は子どもたちが「やる！やる！」と積極的に、喧嘩になるときもありました。水をやったらやる分だけ、たくさん野菜が実ると思っていた幼稚園年長組

の子には、「ジュース飲みすぎたらお腹いっぱいになって気持ち悪くなるやる？」と例え話で伝えると、それから適量の水をやる姿が見られました。少量でしたが栽培した野菜は全て収穫でき、みんなで美味しく食べました。実際に世話をし育てるという体験はとても貴重だと感じました。

子どもたちと生活を共にして気持ちに寄り添うことは、特に一年目の私にとっては、葛藤も多くなかなか思うようにはいかないことが多いですが、このプロジェクトを通して一緒に野菜を育てるといことがとても有意義な時間の共有となり、子どもたちの素直な反応が、子どもたちと向き合っていくエネルギーになります。今後は、水上隣保館の土地を使い農地拡大を目指して遙学園全体で野菜や花の栽培を子どもたちと一緒にしていくつもりです。

(児童指導員 藤巻慶久)



児童養護施設

つばさ 翼

大切だということを伝える

担当している二歳の子は、他の乳児院から「翼」にきました。初めて会ったときは、顔を背けて私のことを全く見てくれませんでした。「翼」で生活を始めるにあたり、不安をできるだけ取り除くことができるように、何度も乳児院を訪れて話をしたり、「お話できてうれしかったよ。また遊ぼうね」と手紙を送ったりしました。三カ月ほどたち、正式に「翼」にやって来た日、部屋の中を飾り付け、好きなキャラクターのシールを貼って、その子の名前を書いた手紙を渡すと「これは何」と初めて話をしてくれました。

最初は泣いてばかりでしたが、徐々に「翼」での生活に慣れていきました。あるとき、外でペダルのない二輪車で遊んでいたその子は、自転車に乗れる気持ちになっていたので、一緒に遊んでいた小学生が自転車で公園に行くのを見て、自分も行きたいと泣き出しました。当然、一人では行けないので、後日、一緒に公園までその二輪車で行くことと喜びました。自分が挑戦したかったことが伝わり、それが実現できたことで、自信を持てたのだと思います。それをきっかけにいろいろなことに挑戦するようになり、オムツから

トレーニングパンツを履きたいと言ったり、一人でおしっこをできたことを私たち職員につれしそくに話したりするようになりました。

子どもとの関わり方で大切にしているのは、その子に合ったやり方で、一人一人が大切な存在だと分かってもらえるように伝えることです。子どもたちは特別なことは何もありません。家庭で経験することを「翼」での生活を通して積み重ねていくのです。

(保育士 衣川あい)

豊中市の広報誌「広報とよなか」十一月号の特集「ひゅつまん通信」のコーナーで、『児童養護施設で暮らす子どもたち 未来への「翼」というタイトルでの子どもたちの生活が紹介されました。

その中で掲載された記事の一部を引用させて頂きました。



児童心理治療施設

ひびき

今精一杯がんばる

私は小学二年生からひびきにいます。その頃は、何かあれば「うざい。死ぬ。黙れ」といった暴言しか言えなかったり、毎日のように誰かとケンカして、泣いて暴れて大変な子だったと思います。それに、何も無い所で転んでは、また泣いてどんくさい子でした。小学三年生になると、それまでは分教室でしたが本校に行きたいと思い始めました。本校に行くには、たくさんの課題が私にはありましたが、頑張つて無事に本校に行くことができました。でも、勉強についていくのが大変でした。宿題も毎日泣きながらやっていました。そして六年生になりました。この一年は反抗期の時期で先生に何を言われても反抗していました。たくさんの人に迷惑をかけたと思います。でも中学に入学すると、落ち着きました。クラブに入り三年間クラブに専念しました。まあ、たまにやらねえこともあったけど無事に高校にも受けられました。

高校に入学すると、自分が思っている以上に朝も早いし大変で、クラブも初めてするスポーツなのでついていくことに必死です。でも、仲間と一緒に挑戦することでうれしいことや、悔しいことも分かち合えることができるの

を中学時代に知ったので、続けることができている。高校三年間は自立も考えないといけないし、すごく早いと聞きました。だから、なんでも積極的にやっていたと学級委員会や生徒会にも挑戦しています。最初は大変だったけど、今では毎日楽しい学校生活を送っています。

私はすごく負けず嫌いなのでそれを長所として、高校生活を周りと話し合いながら、協力して頑張っていました。と思っています。(高一 女子)

担当職員からのメッセージ

高校生になり、学級委員会や生徒会、部活動など様々な活動に精力的に取り組んでいる姿は、活き活きとしてとても素敵です。これからも、色々なことに挑戦してください。自立に向けて、一緒に頑張ってください。(セラピスト 水野正子)



乳 児 院

よくわかってるね♪

『いない いないばあっ!』が大好きなKちゃん。CDを流すとTVの前に行き、映像が流れるのをワクワクしながら待っているの、音楽だけだよ!と伝えるとスーッとその場を去っていきました。でも歌の最後の「はあっ!」の部分だけは歌いたかったようで、戻ってきて歌いに来ていました。(保育士 吉村優美)

今日のおやつは?!

食欲旺盛なHちゃん。私の顔を見たり、「今日のおやつは?」と聞いてきます。「クッキーだよ」と答えたら、「クッキーと、何?」と聞いてきます。「クッキーと、牛乳」と答えると、「おしまい?」と返事がきます。「おしまい」と答えると、満足そうにお風呂に向かいます。(調理員 松山彩乃)

僕は、王子様

小さなころから職員に甘えて、いたれり尽くせりで、生活してきたE君。二歳を過ぎた今でも甘え上手です。食事・着替えは大きな瞳をキラキラさせて、職員を見つめて手伝ってのアピールをします。靴を履くときも、足を前に差し出し、座って待っています。その振る舞いは、まさに王子様です。(保育士 大塚まゆみ)

避難訓練

先日、夜勤中の火災を想定した避難訓練をしていた時、びっくりして泣く子もいる中、泣いている子のところへトコトコと近づき、その子の頭をやさしくなでているKちゃんの姿が!今まで見たことのない一面を避難訓練の最中見ることができ、様子を見守っていた職員同士、ほっこりしてしまいました。(保育士 高橋新一)

いつも いっしょ

もうすぐ二歳になる双子のS君・H君。同じおもちゃを同時に欲しくなり取り合いもありますが、普段はとっても仲良しです。音楽に合わせて、一人が踊り始めると、すぐに一緒に踊り出し始めます。食べることも大好きで、大好きなパン・おやつが出てきたときは、「かんぱーい!」が近頃のブームです。(保育士 森美津子)



特別養護老人ホーム

弥栄の郷

災害時の役割について

六月十八日に起きた大阪北部地震、七月初旬の西日本豪雨、秋には台風による被害など、大きな災害に自然の脅威を感じました。災害時には電気・ガス・水道等のライフラインに被害が出ることも考えられ、生活施設として入居されている方への影響が最小限に止まるよう、今まで以上に考えていかなければならないと感じます。

災害発生時には自治体により避難所が開設されますが、弥栄の郷は特別な支援が必要な高齢者や障がい者等を受け入れる『福祉避難所』としての役割も担っています。九月四日の災害時には島本町からの依頼を受け、五日〜十六日までの間、初めて二名の方を受け入れました。お二人とも日頃から弥栄の郷を利用して頂いている方だったので、併設のデイサービスに遊びに行かれたり、顔見知りの職員もいたので落ち着いて過ごされていました。

職員体制や居住スペース等、まだまだ受け入れる上での制限はありますが、地域で生活しておられる高齢者の方々のため大切な役割を担っているのだと改めて感じました。

(事務員 越川奈美)



大阪保育福祉専門学校

縁の下の力持ち

H O S E N の事務局の仕事は、教務系と総務系の二つに大別されます。教務系には教務部と図書部があり、カリキュラムや成績管理、図書運営が主な業務。非常勤の先生方からの情報や出席簿を管理しながら、「〇〇さん二回続けてお休みですよ」「いつもはちゃんとできていた提出物が遅れてますが?」といった学生情報がいち早く担任に届けられます。また図書室は保健室のようで、実習が不安で泣いている学生や一人ぼっちの学生に、教員とは違った立場で声をかけられるような場になっています。

総務系は、総務・会計の庶務・入試広報といった通常は学生と対面することのない業務ですが、学費の分納や奨学金の手続きには、学生の経済状況への配慮は必須。入試広報は、入学希望者と、早ければ高校二年生の頃からのお付き合いとなります。

六名のスタッフは、本当に偶然なのでしょいか、全員が創設者である中村遙先生と同じ同志社大学の卒業生。教員・職員の間を越えて同じ養成という土台に立って学生に係ることを厭わない縁の下の力持ち達です。

(副校長 植田彌生)



学校法人 山崎学園

山崎幼稚園

おじいちゃん・おばあちゃんと一緒

敬老の日因んで、主におじい様・おばあ様と一緒に楽しむ保育参加日を、各学年毎に行いました。子どもたちもですが、おじい様・おばあ様もとても楽しみにされており、九州など遠方からお越し下さった方も、たくさんいらっしゃいました。

満三歳児クラスは、保護者の方と一緒に『万華鏡』を、年少組は『タオル掛け』を作り、プレゼントしました。年中組は、ホールでお店屋さんごっこです。みんなで作った品物を店舗に並べ、あやとり屋さん・占い屋さん・ポテト屋さん・ペンダント屋さんに変身! 「いらっしやいませ〜」「ありがとうございます!」と、威勢のいい声。

年長組は、福笑い・的あて・相撲・けん玉・竹とんぼ・こま等の昔遊びをご家族の皆様と一緒に楽しみ、笑顔が溢れる微笑ましい光景でした。懐かしい遊びに、皆様夢中になっておられ、「お正月みたいでしたね! 楽しかったです!」と、満足していただけたようでした。ご家庭では、なかなか味わえない時間を過ごせ、子どもたちにとっても素敵なお一日となりました。

(副園長 大森弘子)



山崎保育園



ドキドキ・ワクワクお楽しみ会

待ちに待ったゆりぐみ(五歳児)デ
イキャンプ、その中で『お楽しみ会』
が行なわれました。各グループで出し
物を披露します。一生懸命練習を重ね
てきた子どもたちは、ドキドキ・ワク
ワクの様子でした。

ダンス・なぞなぞ・マジックショー
等があり、グループごとの個性溢れる
出し物となりました。台に仰向けになっ
た子どもが宙に浮くというマジックで
は、「ふわぁ〜す〜いー!」とうなって
るん?と、大歓声。「ちよっと緊張
したけど上手くできた」と達成感いっ
ぱいで笑顔の子どもたち。夜がふける
まで、子どもたちの歓声につつまれて
とても楽しい時間となりました。

(保育士 山寺 翠)

認定こども園
藤の里保育園



食事のたいせつさ

日頃の保育内容や大切にしているこ
とは、保育参観日や懇談会などで保護
者の皆さんに伝えていますが、食事の
ことについては、おたよりでお知らせ
するばかりでした。給食作りへの思い
や食育活動の考えなど、直接保護者の
方にお伝えしたい!その思いから、給
食試食会を企画しました。保護者の方
から「お味噌汁こんなに薄くていいん
ですね!家のは濃いなあ」「こんな切
り方がいいのかあ」など、たくさん
の感想がありました。

ご家庭でも試して頂けるよう出汁を
効かせた味付け、食べやすい切り方な
どお伝えし、食事のあり方を一緒に考
えることができ、有意義な時間を過
せました。

(栄養士 小谷美佳)

ぱんだのいえ



パパと遊ぼう

ぱんだのいえでは毎月第三土曜日、
パパと子どもたちが一緒に遊ぶ日を設
けています。パパが初めて来園される
時は、ママにも来ていただくことで少
し安心されるようです。

ぱんだのいえ開設以来この十年で感
じることは、お子様を抱っこして自ら
来られるパパが増えたこと。家が近所
であったり、何度か来園されることで
顔見知りになったパパ同士は会話が自
然に弾み、仕事のことや子育てのこと
ししゃー関係の情報交換などで盛り上
ります。何よりの、ママのリフレッシュ
タイムにも役立っているようです。
今後パパが気軽に子育てに参加で
きるような場を提供していきます。

(センター長 辻 晶子)

みゆき園



好きこそ

皆さんも覚えがありませんか。好き
な事や興味のある事を学ぶ時、スポ
ンジの様に物事を吸収し楽しく感じた事
を。園では未就学児療育の中で【やり
たくなる支援】の考え方を大切にしてい
ます。「〇〇君は青色が好きだから
この部分を変えてみよう」「カレンダー
の数字をじっと見つめていたよ」この
様な話が会議で飛び交い療育活動に取
り入れていきます。

しかし、上手くいかない事も多くあ
り、その度に活動を見直し、修正しま
す。悩む事も多い。でも、職員は生き
生きと「これでどうだ!」と挑戦して
います。そのため子どもたちの瞳も
キラキラと輝いている様です。

(センター長 中川修二)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 88年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・お申し込みは



▶お電話で

クック フクシ
0120-919-294

▶メールで

ケータイからもOK!
pub@o-hosen.ac.jp

▶QRコードで

ケータイサイトから



10 山崎幼稚園



1 2 専門学校・本館・オリーブ館



3 専門学校・中村記念館
みゆき園分室 (1F)



4 児童養護施設 遙学園



児童養護施設 翼 (豊中市)



5 児童心理治療施設 ひびき



11 山崎保育園



ばんだのいえ (島本町)



12 みゆき園



13 さくら館



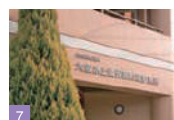
認定こども園 藤の里保育園
(高槻市)



ファミリーポートたかつき
(高槻市)



6 大阪水上隣保館乳児院



7 大阪水上隣保館附属診療所



8 地域交流センター・ゆりの礼拝堂



9 特別養護老人ホーム 弥栄の郷



子ども家庭支援センター・
ファミリーポートひらかた(枚方市)



ファミリーポートサブリ村野
(枚方市)

豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山崎幼稚園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296
ホームページ <http://www2.yamazaki-k.e>